

2018年5月1日

各 位

住 所 神戸市東灘区向洋町西5丁目9番
 会 社 名 株式会社トーホー
 (コード番号:8142 東証第1部、福証)
 代 表 者 代表取締役社長 古賀 裕之

農業法人(株)トーホーファーム ハウス栽培圃場(兵庫県西脇市)を拡大、生産体制強化へ

株式会社トーホーの連結子会社で農業法人である株式会社トーホーファーム(本社:神戸市西区、社長:黒崎泰司、以下「トーホーファーム」という)は、2018年4月、兵庫県西脇市においてハウス栽培の圃場を大幅に拡大、生産体制を強化し、5月より出荷を本格化いたしますので、お知らせいたします。

トーホーファームは「安心・安全な農産物の提供」「地産地消の推進」を目的として、当社が2009年に設立した農業法人で、神戸市西区において、露地栽培圃場597アールとハウス栽培圃場23アールの計620アール(6.2%)の圃場で農産物の栽培を行い、その収穫物は主に当社グループの食品スーパー「トーホーストア」(兵庫県南部で34店舗展開)に出荷しております。

今回、同社は安定的な生産量の拡大による収益力の向上を目指す中で、兵庫県西脇市においてハウス栽培圃場(面積17.7アール、ハウス設備9棟)を新たに確保し、栽培を開始することとなりました。

これにより同社のハウス栽培圃場の面積は40.7アールとなり、従来面積から1.8倍に増加いたします。なお、新たなハウス栽培圃場では、主にアスパラを栽培する予定です。

【新たに拡大する農地・施設の概要】

所在地	兵庫県西脇市高松町南境62番地1
農地面積	17.7アール
施設	ハウス9棟、倉庫等
生産予定品目	アスパラ、ほうれん草、小松菜など



【トーホーファームの概要】

名 称	株式会社トーホーファーム
所 在 地	神戸市西区神出町小束野 53-81
代 表 者	代表取締役社長 黒崎 泰司
事 業 内 容	農作物の生産等
資 本 金	1,000 万円
設 立 年 月 日	2009 年 12 月 22 日
大株主及び持株比率	株式会社トーホー100%
圃 場 面 積	637.7 アール (6.38 畝)、うちハウス 40.7 アール
生 産 品 目	17 品目 うち 12 品目 (じゃがいも、ブロッコリー、白菜、玉ねぎ、スイートコーン、枝豆、かぼちゃ、さつまいも、ほうれん草、大根、うるち米、青ネギ) は「ひょうご安心ブランド農産物 (注)」の認証を取得
生 産 量	138 トン (2018 年 1 月期実績)

(参考) 当社の農業参入への経緯

- 2002 年 12 月 食を通じた社会貢献として未来を担う子どもたちへの食育・食農活動開始。神戸市の小学生を対象に春キャベツの作付けから収穫、販売、調理に至るまで、半年間に亘り体験学習の場を提供する「食農情報学習プロジェクト」に参画。
- 2005 年 4 月 「食農情報学習プロジェクト」で培った体験学習のノウハウをベースに公益社団法人兵庫みどり公社が主催する楽農交流事業に参画。「露地野菜栽培体験」や「里山再生活動」など体験学習講座を開設。管理・運営を行うとともに、兵庫楽農生活センターが 2006 年 11 月に開設した食育をコンセプトにした楽農レストラン「育みの里 かんでかんで」の運営も開始。
- 2006 年 8 月 兵庫楽農生活センターでの体験圃場の管理で培った野菜栽培のノウハウをベースに、特定法人貸付事業制度を活用して兵庫県内の株式会社としては初めて農業に参入。
- 2009 年 12 月 農業法人「株式会社トーホーファーム」設立。

(注) ひょうご安心ブランド農産物

兵庫県認証食品で、化学肥料・農薬の使用を 5 割以上減らし、残留薬品・抗生薬品を国の基準の 1/10 以下とするなど安全性が高く、出荷記録による管理を徹底した安心感のある食品です。

《詳しくはこちら↓ひょうごの美味し風土拡大協議会 HP ↓》

<http://hyogo-umashi.com/about/index.html>

以上

□■□■ 本件お問合せ先 ■□■□

株式会社トーホー 広報・IR 室 内田・松野まで TEL 078-845-2523